

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	車両基地・貨物駅等周辺整備対策事業			
予算科目	8 款 5 項 1 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 都市計画			
所管課情報	担当課:	都市住宅課	電話番号(内線):	567
記入者情報	所属長:	森下 久史	担当責任者:	三谷 陽紀
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 22 年度 【開始年度】平成29年度			
事業の対象	JR車両基地・貨物駅整備周辺住民			
根拠法令等	社会資本整備総合交付金、愛媛県車両基地・貨物駅等周辺整備対策補助交付要綱			
事業の目的	JR車両基地・貨物駅等整備による周辺地区への環境変化を軽減するため道路等の整備を行う。			
事業の内容	JR車両基地・貨物駅周辺の道路等の整備			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	事業の進捗については、内示額の関係により遅れが生じているため、期間の延長を行なう。			
改善策の 具体的 取り組み	新駅の設置については、費用対効果を考慮し、事業規模を決定する。			

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	23,261	49,231	130	15,398
	人件費	1,627	2,386	397	2,386
	合計	0	51,617	527	17,784
人件費 内訳	人工数	0.20	0.30	0.05	0.30
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,627	2,386	397	2,386
財源内訳	国庫支出金	11,760	19,800	0	7,008
	県支出金	3,920	14,322	0	4,102
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	9,208	17,495	527	6,674

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
道路改良延長	m	113	199		

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	31,000	40,000	170,000	0	0	241,000

成果指標				
成果指標	当年度までの事業費÷全体事業費			
指標設定の考え方	進捗状況の把握			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標29年度
目標	52	81	48	100
実績	23.8	40	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>全体計画に対する今年度までの事業実施率(事業費ベース)が、40%となっているため、当初計画では、平成27年度での事業完了予定が、2~3年遅れての完了となる。今年度施工の市道1路線については、県工事との工程調整により繰越となったが、周辺地域の利便性を確保するため、早期に工事を完成させる必要がある。新駅の設計については、当初2ホームで計画していたが、JRとの協議の中で、1ホームで進めることで方針が決まり、結果、費用削減に繋がった。施工時期については、今後協議を行ない決定されることとなるが、可能な限り早期の完成を目指したい。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>整備対策事業の進捗については、事業予算の内示が要望額より毎年下回っているため、計画より大幅に遅れている現状であるが、鋭意、関係機関との調整を図り、早期完成を目指す必要がある。今回整備された松前町との行政界付近の市道認定については、次年度早々に県・松前町と協議、調整を行い管理区分を明確とするとともに、適正な管理に努めなければならない。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題